

●交通まちづくり部会の取組説明（Aさん）

主に取り組んでいるのは、公共交通の利用促進につながる啓発活動、公共交通の利便性向上や交通まちづくりにつながる提言活動です。公共交通の利用促進につながる啓発活動は、交通事業者や行政ではなく、なんの利害関係もない私たちが市民の立場で市民に公共交通の利用を呼びかけることで、効果があると考えています。そして、公共交通の利便性向上や交通まちづくりにつながる提言活動としては、設立当初から行っているイベントを通して市民の意識をアンケート調査して、公共交通事業者の皆さんとも意見交換等を行わせていただいています。

私たちは公共交通を応援する交通まちづくりが、環境に優しいまちづくり、福祉のまちづくり、中心市街地の活性化につながると考えています。

国の2007年1人当たり年間CO₂排出量のうち27.2%がガソリン由来となっています。東北のある自治体の調査によると、中山間地域ではガソリン由来が40%を超えています。私たちの生活を見直して、自動車から公共交通・自転車という移動手段に変えることにより、排出ガスの削減と省エネにつながるのではないかと考えています。例えば、自動車の利用が減ると駐車場とか広い道路幅が必要なくなり、道路の車線を一本削って植樹帯にしてまちの魅力やアメニティの向上につながれるのではないかと考えています。

中山間地域では、若い世代が都市部に出て行ったことで買い物に行けない、通院バスで病院に行けても、通院バスの存在でますます公共交通が成り立たない状況になっています。結局、自動車社会により、人の移動があらゆるものに対応できなくなっているのではないかと。

県内のある小さな集落には診療所があり、地域の人たちは皆さんそこに歩いて通っていました。ところが、無料の病院バスが町から来るようになって、歩くよりも楽で買い物もできると病院バスに乗って町へ行くようになりました。その結果、公共バスも地域の診療所も使わない、将来が危うい事例がありました。結局、人の移動の視点で福祉も大きな影響を受けると考えます。

また、高松で琴平電気鉄道がイルカカードというICカードの運用を始めた時に、私たちは自分たちが使ってみて、利用している人にインタビューしました。その時に、「今までは値段を気にしていたのが、割引もあり、さらに小銭を用意しなくてもよく、非常に楽になった」とお年寄りが大歓迎していました。あまり外出しなかったお年寄りも外に出られるようになり、介護予防につながるのではないかと考えています。

そして、中心市街地の活性化につながると考えています。高知市のまちは、山内一豊が高知のまちを開いてから400年の歴史が作り上げたと思っています。そこに商業・文化・交流・学習・娯楽、その他さまざまな機能が集約されることによって、郊外からまちへ人が集まるという一方通行の移動手段が維持されてきたと思います。人を集約して運びますので、公共交通が成り立ちやすかった。まちは常ににぎやかで、中心市街地は無理に人を呼ばなくても、人が集まっていたのではないかと。

公共交通を移動手段の柱と考えた場合、結果としてまちの魅力と利便性が持続すると言いたいです。この他、交通事故の低減、観光振興、産業振興につながる。ドイツの人口20万人のまちでは30年前から公共交通中心のまちづくりを進めてきた結果、交通事故による年間死亡者数は全国平均の6分の1となっています。

私たちの活動の初動期には、「市民が市民に訴える」というテーマで公共交通の利用促進を訴えてきました。当時は、「交通事業者が当たり前のこともしていないから公共交通はそっぽを向かれるので、不便な公共交通網をよくするために訴えていかなければならない」と感じて活動をしていました。しかし、公共交通をまちづくりの中で考え始めると、公共交通を取りまく社会システムそのものに矛盾があるのではないかという疑問にぶち当たりました。私たち利用者からすると公共交通はもっと便利になってもらいたいのですが、補助金は赤字補填で、投資的な面で本当に利用者の方を向いているのかなと感じたことがあります。また、将来像を持って公共交通とまちづくりを考えていく公共交通全体を統括するような計画が必要ではないか。活動を通して、参加してくれる市民に対しても、自分たちのまちや公共交通について無関心過ぎるという意識も持っています。

交通事業者、特にバス事業者の皆さんがご意見箱を各地に設置して、意見を共有して、利用者に返しています。私たちは中立的な立場でその運営会議に出席して、利用者の立場から意見をさせていただいています。また、交通まちづくり勉強会として、行政や交通事業者とも積極的に意見交換しています。交通とまちづくりに関しては、主導してくれる主体が必要で、市民にもまちの状況と公共交通の現状を知ってもらわないといけないと感じています。